

令和7年度 事業計画書

社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会

目次

I. 基本方針	1
II. 重点項目	2
III. 事業実施計画	4
1. 地域福祉活動の推進	4
(1) 地域福祉活動計画の推進	4
(2) 地域福祉活動の支援	4
(3) 地域づくり事業	4
(4) 高齢者生きがい活動等の支援	6
(5) 児童の育成支援	6
(6) 障がい者(児)の支援	7
(7) 福祉団体の育成・支援	7
(8) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力	7
(9) 地区福祉懇談会の開催	7
2. 生活支援サービスの推進	8
(1) 地域福祉コーディネート活動	8
(2) 重層的支援体制整備事業	8
(3) 生活支援相談	9
(4) 生活福祉資金等の貸付相談	9
(5) 日常生活自立支援事業	9
(6) ICTを活用した見守り事業	10
(7) 不利益な取り扱いに関する相談受付	10
3. 在宅福祉サービスの推進	10
(1) 介護保険サービス	10
(2) 障がい福祉サービス	11
(3) 地域生活の支援	12
(4) 地域包括支援センター	12
(5) 外出の支援	13
4. 福祉活動情報の発信	13
(1) 第64回盛岡市社会福祉大会の開催	14
(2) 福祉もりおかの発行	14
(3) インターネットを利用した情報発信	14
5. 総合福祉センターの管理運営	14
6. 職員の育成	14

I 基本方針

地域住民の福祉ニーズや生活課題は生活困窮に加え孤独・孤立の状態に陥ることにより多様化・複雑化しており、これまで以上に多職種分野との幅広い連携による包括的な対応と支援が求められています。

国においては、地域共生社会の実現に向けて地域住民の支援ニーズに対応するため、包括的支援体制の整備のほか、生活困窮者への支援、障がい者支援等を推進することとしています。

このような情勢を踏まえ本会は、地域福祉を推進する中核的団体として、第2期地域福祉活動計画の基本理念である「人と人とがつながり共に支え合うまちづくり」の実現に向け、盛岡市を始めとして地域福祉を担う主体と連携・協働して同計画を推進してまいります。

地域福祉活動においては、地域住民のつながりの再構築に向けて、多様な住民の交流の場の創出や生活支援の課題解決について、地域づくり事業によるボランティアの協力や育成を進めながら取り組んでまいります。

生活支援活動については、生活福祉資金貸付制度や日常生活自立支援事業、重層的支援体制整備事業により、行政や関係機関等と連携して相談支援活動など、より一層の充実を図ってまいります。

介護保険事業については、物価の高騰や介護保険制度の介護報酬改正の影響などにより、今後も一層厳しい経営状況が予想されますが、社会福祉協議会としての介護保険事業サービスの特色を活かしながら経営の安定を図ってまいります。また、介護職員の人材確保につきましては、サービス従事者の処遇改善を継続し働きがいを高め、質の高い介護職員の育成及びその定着を図りながら、利用者本位の介護サービスの提供に努めてまいります。

以上の基本方針を具体化するため、次の6項目の重点項目を掲げ、効果的な展開を図るとともに、この裏付けとなる実行予算の編成をおこなうものとします。

II 重点項目

1 地域福祉活動の推進

第2期地域福祉活動計画の中間見直しに基づき、住民が住み慣れた地域で安心・安全に暮らすことができるよう、地区福祉推進会や町内会・自治会、民生児童委員等が行う見守り活動やサロン活動等の地域福祉活動を支援し、共に支え合うまちづくりを推進します。

また、重層的支援体制整備事業や地域づくり事業を受託し、関係機関とのネットワーク体制による要援護者の支援活動や地域活動支援に取り組みます。

2 ボランティア・市民活動の推進

ボランティア活動の活性化を図るため、活動の担い手となる団体、個人、企業等にボランティア情報を提供するとともに、講座の開催によりボランティアの育成を図ります。

また、地域住民の交流の場となるサロン活動を支援し、サロンを活用した生活支援サービスとの連携を進めます。

3 福祉サービスの利用支援

生活福祉資金・助け合い資金の貸付相談に対応するため関係機関と連携を図り支援をおこないます。

また、認知症高齢者等の増加が見込まれる中、日常生活自立支援事業による支援を行うとともに、成年後見制度との連携を図ります。

4 介護保険事業サービスの推進

住み慣れた場所で安心して暮らし、そして社会参加ができるよう、自立に向けた生活の支援のため、部門横断的な専門職種の連携の下、介護保険サービス事業者として利用者本位の地域に密着したサービスを展開します。

また、顧客の獲得に向けサービスの向上に努め、介護報酬の収益の安定を図りながら、介護職員の人材確保・育成・定着を進め、採算性の確保に努めた介護保険事業をおこないます。

5 働きやすさと働きがいのある職場づくり

多様化・深刻化する地域課題に対応するため、一人ひとりの職員が能力を最大限に発揮でき、チームワークを高められる職場環境づくりを推進します。

働きやすい環境づくりの取り組みとしては、多様な働き方の実現に着手するとともに、有給休暇の取得促進や待遇向上を図り、一人ひとりの職員が安定した生活を送り、いつまでも安心して働き続けることができる職場づくりを目指します。

また、職員一人ひとりが組織の一員として自らの行動に責任を持ち、やりがいをもって目標にチ

チャレンジできるよう職員行動指針の定着・浸透を図るとともに、キャリアパス制度の策定を進め、職員のモチベーションの向上と意欲の高い人材の確保に努めます。

6 信頼される法人経営

社会福祉法人としての公益性・非営利性を確保するため、組織のガバナンスと財務規律の強化や情報公表等による透明性の向上を図ります。

市民から信頼される社協であり続けるため、第2期地域福祉活動計画と共に中期経営計画の見直しに取り組み、中長期を見据えた事業展開、財務改善等経営基盤の強化に取り組み、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けて事業活動を推進します。

Ⅲ 事業実施計画

1 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉活動計画の推進 (事業費 640 千円)

令和2年度に見直しを行った第2期地域福祉活動計画を市民や地域、団体、関係機関等と連携・協働して地域福祉を推進します。また、第3期盛岡市地域福祉計画の策定に伴い、令和8年度を始期とする第3期地域福祉活動計画の策定をおこないます。

(2) 地域福祉活動の支援

地区福祉推進会や町内会・自治会が主体的に行う地域福祉活動への支援や運営費の助成等により地域福祉活動の活性化を図るとともに、地域住民、民生児童委員、福祉関係団体等の協働のもと、助け合いの意識の醸成及び地域福祉活動が促進されるよう支援します。

① 地区福祉推進会活動の支援

ア 事業活動・事務費助成 (事業費 1,716 千円)

地区福祉推進会事業や地域福祉活動が円滑に推進されるよう、活動費・事務助成金を交付します。

イ ふれあいシルバーサロン事業 (事業費 5,223 千円)

地域内のおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等の方が、地域住民との交流を通して、健康を保持しながら生きがいを高められるよう、地区福祉推進会が行う住民間の交流会、地域でのボランティア活動、世代間の伝承遊びやスポーツ交流会等の取り組みを重点的に取り組めるよう支援します。

○ ふれあい給食会・ふれあい座談会・世代間交流会・ボランティア活動

ウ シルバーメイト事業 (事業費 3,545 千円)

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、認知症の方等が地域で安心して生活できるよう、地区福祉推進会が中心となり、地域住民の見守り・訪問などによる安否確認をおこないます。地域全体で高齢者の方々を支え合い、住み慣れた地域での暮らしの実現に向けた取り組みを推進します。

② ふれあいのまちづくり事業（玉山地域） (事業費 314 千円)

玉山地域内において、弁護士等専門家による定期的な法律相談や生活相談、チャイルドシート等の貸出し、家事支援等の提供など地域で安心した生活の確保に向けた支援をおこないます。

○ 専門家による福祉相談

○ チャイルドシート等の貸出

○ ふれあいサポートバンクによる家事支援等

(3) 地域づくり事業（盛岡市委託事業） (事業費 8,374 千円)

地域住民の創意や主体性を源として、多様な活動と参加の機会を生み、地域の持続可能性を高

めていくことを目的に世代や属性を超えて交流できる場や居場所の設置・運営に努めるとともに、ボランティア活動を支援します。

① ボランティア・市民活動の支援

市民のボランティア・市民活動を促進するため、ボランティアの養成と組織の育成に努め、地域住民の生活支援活動などへの参加を促進します。

ア ボランティア養成研修

学生を含めた市民を対象に、入門講座や分野別ボランティアなどの講座を継続的に開催し、ボランティア意識を高めるとともに、活動の場を提供し、ボランティア活動の定着を図ります。

イ ボランティア登録・マッチング

ボランティア登録者にボランティア団体の紹介や、個別のボランティアニーズをホームページや広報紙等で情報発信し、マッチングを推進します。

また、個別のボランティアニーズに対する助け合いの仕組みづくりを推進します。

ウ ボランティア・市民活動情報ネットワークの推進

ボランティア連絡協議会の運営や盛岡市ボランティアまつり「ふれあい広場」の開催など、交流活動への支援を通して、ボランティアグループや個人ボランティアのネットワークづくりを推進します。

エ ボランティア活動機材の貸出し

本会が所有する活動用資材等の貸し出しを行い、ボランティア団体等の活動を支援します。

オ 福祉除雪

雪かきが困難なひとり暮らし等の高齢者世帯などからの依頼に応じ、社会福祉協議会に登録する協力団体や個人ボランティアと連絡調整を図り、雪かきをおこないます。また、地域の除雪組織の立ち上げを支援し、住民相互の支え合いを促進します。

② 福祉教育の推進

児童・生徒や地域住民、企業等に福祉に関する学びの場を提供し、福祉意識の高揚と地域福祉の担い手となるよう関係機関と連携して福祉教育の推進を図ります。

ア 福祉講話及び福祉体験学習

福祉講話、車いす体験、アイマスク・白杖体験、高齢者疑似体験、当事者からの講話など、小・中学校や町内会・自治会、企業が行う福祉に関する学びの場に職員やボランティア（ふくしの学びサポーター）を派遣します。

イ 福祉教育に関するリーフレットの作成

福祉講話及び福祉体験学習等、過年度の取り組みをリーフレットにまとめ、学校教員や企業研修担当者、町内会・自治会役員等に周知します。

③ 交流の場づくり

ア サロン活動支援

サロン立ち上げに関する支援をおこなうと共に、「サロン世話人交流会」を通じて、サロン世話人の情報交換の場とネットワークづくりをおこない継続的な取り組みになるよう支援します。

イ 多様な主体と連携した居場所づくり

当事者、ボランティア、企業・団体と連携して、属性や世代の垣根を超えて地域の様々な人と気軽に関わり、安心して過ごすことができる場を設置・運営します。

(4) 高齢者生きがい活動等の支援

高齢者の方々の健康増進、社会参加等の生きがい活動について、関係団体と共に支援します。

○ 高齢者生きがい事業 (事業費 270 千円)

高齢者の方々の生活を健康で生きがいのあるものにするため、盛岡市老人クラブ連合会、盛岡市との共催により、高齢者の生きがい増進に関する事業を開催します。

(5) 児童の育成支援

ひとり親家庭、子ども会、放課後児童その他児童の健全育成について、関係団体等と連携を図りながら支援を進めるとともに、児童・生徒の福祉教育の一層の推進に努めます。

① 児童福祉週間運動・支援 (事業費 30 千円)

5月5日の「こどもの日」を中心とした児童福祉週間において、児童福祉に関する講演会を開催するとともに、子ども会育成会連絡協議会が行う歩け歩け運動を支援します。

② 児童館の管理運営 (盛岡市指定管理者指定事業) (事業費 76,414 千円)

児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため、盛岡市が玉山地域に設置する4カ所の児童館の指定管理者として、円滑な運営に努めます。

館名	運営区分	開館時間			職員数 (人)
		月～金曜日	土曜日	学校休業日	
巻堀児童館	幼児・学童混合保育型	8:00～18:00	8:00～12:00	8:00～19:00	7 (3)
		8:00～19:00	8:00～18:00		
日戸児童館	学童保育型	10:30～19:00	8:00～18:00	8:00～19:00	5 (2)
好摩児童館	学童保育型	10:30～19:00	8:00～18:00	8:00～19:00	8 (3)
渋民児童館	学童保育型	10:30～19:00	8:00～18:00	8:00～19:00	7 (3)

(注) 開館時間の上段は幼児型、下段は学童保育型を表します。
職員数の括弧は、常勤職員数(内数)を表します。

③ 学童クラブの管理運営 (放課後児童健全育成) (盛岡市委託事業) (事業費 11,156 千円)

留守家庭児童の放課後における保護と健全育成活動の推進を図るため、学童クラブの円滑な運営に努めます。

学童クラブ名	主な学区	開館時間			職員数 (人)
		月～金曜日	土曜日	学校休業日	
都南こどもの家	見前小学校区	下校後～18:00	8:00～18:00	8:00～18:00	7 (2)

(注) 職員数の括弧は、常勤職員数(内数)を表します。

(6) 障がい者(児)の支援

障がいのある方がスポーツ等を通して社会参加やボランティア等との交流が促進されるよう支援します。

① 障がい者スポーツ大会の支援 (事業費 88 千円)

盛岡市が主催する盛岡市障がい者スポーツ大会に対して、障がい3団体と共に開催経費を負担するとともに、高校生、学生等のボランティアを募集し派遣します。

② 「第73回全国ろうあ者大会 in いわて」開催への支援 (事業費 30 千円)

21年ぶりに盛岡市で開催される「第73回全国ろうあ者大会 in いわて」の開催にあたり、経費の一部を助成するなど、ろうあ者の自立と社会的地位の向上に向けた取り組みを支援します。

(7) 福祉団体の育成・支援 (事業費 2,439 千円)

全市的範囲で活動する専門別に組織された福祉関係団体(8団体)に対して、運営経費の一部を助成することにより、当該団体の育成と活動の支援に努めます。

(8) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力

岩手県共同募金会盛岡市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動に協力し、地域福祉活動の振興につながるよう努めます。

① 小規模災害被災者見舞金の給付 (事業費 250 千円)

豪雨や洪水、地震、噴火その他の異常な自然現象又は火事、爆発等により半壊若しくは半壊以上又は床上浸水の被害のあった世帯に対し見舞金を支給します。

② 歳末たすけあい募金運動寄付金の交付等 (事業費 10,235 千円)

重度心身障がい者(児)世帯や寝たきり高齢者世帯、ひとり親世帯等で生活困難な世帯の方々に対して寄付金の交付をおこないます。

③ 生活困窮世帯支援生活用品等支給事業 (事業費 200 千円)

地域福祉コーディネーター活動において実施する生活困窮世帯へ生活用品等の支給をおこないます。

④ 赤い羽根共同募金出前講座

市内の小・中学校等を対象に職員を派遣し、共同募金運動の理解を深める出前講座を実施し、運動の啓発及び福祉教育の推進を図ります。

(9) 地区福祉懇談会の開催

(事業費 33 千円)

第2期地域福祉活動計画の推進及び第3期地域福祉活動計画策定のため、地区福祉推進会又は町内会・自治会で地区福祉懇談会を開催し、地域課題の解決に向けた意見交換を行い、具体的な解決方法等について話し合い、実践に向けた取り組みを支援します。

2 生活支援サービスの推進

(1) 地域福祉コーディネート活動

地域福祉コーディネーター（CSW）による高齢者や障がい者、ひきこもりなど年齢や障がいの有無に関わらず分野横断的に相談に応じ、必要なサービスや専門機関へつなぐとともに、地域住民、各関係機関や事業所と連携し、新たな課題解決に向けた地域の支え合いの仕組みづくりに取り組みます。

(2) 重層的支援体制整備事業（盛岡市委託事業）

(事業費 35,778 千円)

複雑かつ複合的な課題を受け止め、地域福祉コーディネーターが中心となり、総合的に相談できる体制を構築し、解決に向けて多職種による支援体制をつくり、課題を抱えた世帯が地域の中で安心して暮らすことができるよう取り組みます。

① 参加支援事業

社会とのつながりが希薄になっている方が地域や社会とつながり、自らの役割を見出すために多様な接点を確保する取り組みをおこないます。

Book and Bookenergy in Morioka 活動を継続する他、企業との連携も強化し参加の場を拡大するための働き掛けをおこないます。

② アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

CSWによるアウトリーチを行い、長期にわたりひきこもっていた人や支援につながることに抵抗のある人に継続的に関わり、支援をします。

③ 多機関協働事業

重層的支援体制整備事業に関わる関係者の連携の円滑化を進めるなど、既存の相談支援機関をサポートし、包括的な支援体制を構築できるよう支援をおこないます。

④ 支援プランの作成

複雑・複合化した課題解決のため、個別ケース会議の開催により、関係機関の役割や支援の方向性を確認し、支援プランを作成します。

プラン作成→支援のスタート→モニタリング→支援の見直し→支援の終結

⑤ まるごと推進会議の開催

事業全体の評価や関係機関との意見交換・情報共有を行う全体会、社会資源の創出の検討を行う分科会を開催します。

⑥ 困りごとまるごと無料相談会の開催（年4回）

盛岡市重層的支援アドバイザー、行政職員、オブザーバー等による出張相談会を年4回開催します。

相談窓口に来所することが困難な方や、困りごとの相談先がわからない方のために、盛岡市担当課や各分野の専門家が各地域へ出向き相談会を実施します。

(3) 生活支援相談

市民が地域で安心して暮らすことができるよう、生活課題等への解決に向けた各種相談に対応します。

○ 心配ごと相談（心配ごと相談所）

市民の方々が抱えているさまざまな問題や悩みごとについての初期相談窓口として、相談員が広く相談に応じ、解決に向けたアドバイスをおこないます。

- ・中央相談室（常設） 月～金曜日（国民の祝日及び12月29日から翌年の1月3日までを除く）
10時～16時
- ・都南相談室（定期） 毎月第3金曜日 10時～16時

(4) 生活福祉資金等の貸付相談

（事業費 29,099 千円）

他の貸付制度の利用ができない低所得世帯等の方の経済的自立と生活安定を目指すために必要な資金（生活福祉資金）や不時の出費に必要な小口資金（助け合い資金）の貸付相談に対応します。また、雇用や生活の改善に向けた貸付については、盛岡市くらしの相談支援室、ハローワーク、岩手県社会福祉協議会、盛岡市福祉事務所、岩手県消費者信用生活協同組合、盛岡市消費生活センター等の関係機関と緊密なネットワークを通じて対応します。

① 生活福祉資金（岩手県社会福祉協議会委託事業）

- 対象者 低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯、生活保護世帯。
- 貸付条件 市内居住等
- 貸付利率 年1.5%（連帯保証人を立てた場合は無利子）
ただし、教育支援資金及び緊急小口資金は無利子
- 資金種類 総合支援資金、福祉資金（福祉費・緊急小口資金）、教育支援資金、不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金

② 助け合い資金

- 貸付限度額 80,000円以内（無利子）
- 償還期限 8ヵ月以内
- 連帯保証人 1名

(5) 日常生活自立支援事業（岩手県社会福祉協議会委託事業）

（事業費 23,012 円）

日常生活上の判断能力が不十分な方の日常的な金銭管理や、介護保険サービス等福祉サービスの

利用手続きの生活援助をおこないます。

- 事業体制 専門員 5 名、生活支援員 19 名（うち盛岡市担当 15 名）
- 利用料 相談無料。1 回の援助につき 1 時間当たり 1,300 円（生活保護世帯無料）
※令和 7 年 10 月 1 日より料金改定予定
- 対象者 認知症高齢者、知的・精神障がい者等の判断能力が不十分で、日常生活に必要な福祉サービスの利用等について判断することが難しい方
- 援助の内容
 - ・福祉サービスの利用手続きや情報提供と助言
 - ・福祉サービスの利用料の支払いや日常的な金銭管理サービス
 - ・書類等の預かり保管サービス
 - ・苦情解決制度の利用支援
- 事業の範囲 盛岡市・紫波町・矢巾町

(6) ICT を活用した見守り事業

岩手県社会福祉協議会が進める ICT（情報通信技術）を活用した「いわて“おげんき”みまもりシステム」に参画し、「“おげんき”みまもりセンター」として高齢者等の見守りをおこないます。

“おげんき”みまもりセンターでは、地区福祉推進会、民生児童委員、町内会・自治会等の協力を得ながら、登録する一人暮らし高齢者等の安否確認を毎日行うとともに、システムを活用しながら、ひとり暮らし高齢者等の孤立防止、見守り活動をおこないます。

(7) 不利益な取扱いに関する相談受付（岩手県社会福祉協議会委託事業）

「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」に基づき、障がいのある方に対する不利益な取扱いに関する相談を受け付けし、関係機関や関係団体などと連携し、不利益な取り扱いの解消に努めます。

3 在宅福祉サービスの推進

(1) 介護保険サービス

要介護等高齢者の尊厳保持及びその自立を支援する介護保険法の目的に基づき、盛岡駅西口介護サービス事業所及び月が丘介護サービス事業所において、良質な介護保険サービスを提供するとともに、地域包括ケアシステムの実現に向けて、関係機関と連携した介護サービス事業を実施し、採算性を確保する経営に努めます。

① 居宅介護支援事業（盛岡駅西口・月が丘）（事業費 64,799 千円）

介護支援専門員が要介護者の方やその家族の希望を取り入れて必要な介護サービス計画を作成します。また、特定事業所として質の高い介護支援サービスの提供をおこないます。

○営業日・時間 月～金曜日（国民の祝日及び 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までを除く）

8時30分～17時15分

○盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員3名 介護支援専門員2名

○月が丘指定居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員1名 介護支援専門員4名

② 訪問介護・第1号訪問事業（訪問介護相当サービス）

（盛岡駅西口・月が丘）（事業費 92,607 千円）

訪問介護員による入浴、食事介助などの身体介護や炊事、掃除などの生活援助をおこないます。

○介護保険対象外サービスの実施

訪問介護等サービスの利用者の意向を踏まえ、ケアプランに基づき介護保険法による事業の対象とならない家事支援や外出介助等のサービスを提供し、自立した日常生活を継続するための支援をおこないます。

○営業日・時間 月～土曜日（国民の祝日及び12月29日から翌年の1月3日までを除く）

8時30分～17時15分（サービス提供7時～21時）

○盛岡駅西口ヘルパーステーション サービス提供責任者5名 訪問介護員17名

○月が丘ヘルパーステーション サービス提供責任者3名 訪問介護員16名

③ 通所介護・第1号通所事業（通所介護相当サービス）

（盛岡駅西口・月が丘）（事業費 118,408 千円）

在宅の要支援・要介護等高齢者の方に、入浴、食事等の介助や機能訓練などのサービスを提供します。

○営業日・時間 月～土曜日（国民の祝日及び12月29日から翌年の1月3日までを除く）

8時30分～17時15分（サービス提供9時30分～15時50分）

月～土曜日 8時30分～17時15分（サービス提供9時30分～15時50分）

○盛岡駅西口老人デイサービスセンター

生活相談員1名 看護職員1名 介護員13名 調理員2名 運転手4名

○月が丘老人デイサービスセンター

生活相談員1名 看護職員1名 介護員14名 調理員2名 運転手4名

④ 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援1・要支援2と判定された高齢者や総合事業の対象となる方に対して、要介護状態への移行を予防するため、「盛岡駅西口地域包括支援センター」及び「みたけ・北厨川地域包括支援センター」において介護予防ケアマネジメントをおこないます。

(2) 障がい福祉サービス

（事業費 3,274 千円）

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、居宅介護（ホームヘルプ）サービスとして利用者宅でホームヘルパーによる入浴、食事、介助などの身体介護や炊事、掃除などの生活援助をおこないます。

- 営業日・時間 月～土曜日（国民の祝日及び12月29日から翌年の1月3日までを除く）
8時30分～17時15分（サービス提供7時～21時）
- 盛岡駅西口指定居宅介護事業所
- 月が丘指定居宅介護事業所

(3) 地域生活の支援

在宅のひとり暮らし高齢者や寝たきり高齢者の方、身体に障がいのある方が地域で安心して暮らすことができるよう、自立に向けた日常生活上の支援をおこなうほか、家族介護者の負担軽減を図ります。

- ① 日常生活福祉用具の貸出 （事業費 71 千円）
介護保険制度の対象とならない在宅の高齢者の方や障がいのある方などに日常の生活福祉用具を貸出します。
 - 貸出用具 車いす、電動車いす、特殊寝台、マット、歩行器
 - 対象者 介護保険サービス利用の適用を受けない在宅介護高齢者、身体障がい者の方。または、一時的に必要とされる方
 - 貸出期間 車いす1カ月更新 特殊寝台3カ月更新
 - 利用料 無料
- ② 寝たきり高齢者等の紙おむつ支給（盛岡市委託事業） （事業費 14,008 千円）
家族介護者の負担軽減を図るため、在宅の寝たきり高齢者等の方に、各地域の老人福祉センター等の協力を得て紙おむつを支給します。
 - 対象者
 - ・65歳以上の在宅の方で、おむつを常時使用している状態が6カ月以上継続、又は6カ月以上継続することが予想される非課税世帯の方（生活保護世帯を除く）
 - ・要介護認定を受けており「排泄・排尿」の項目において「介助・見守り」に該当する方
 - 支給枚数
 - ・1カ月当たり フラット型、尿取りパッド（105枚上限210枚）
 - ・パンツ型テープ止め、パンツ型はくタイプ（20枚上限40枚）
 - ※ 要介護4又は5の場合は上限を適用
 - 利用料 無料
- ③ 高齢者世話付住宅援助員の派遣（盛岡市委託事業） （事業費 1,902 千円）
月が丘老人デイサービスセンターにおいて、高齢者世話付住宅（市営月が丘アパート）に生活援助員を派遣し、生活指導や相談をおこなうとともに、24時間対応で安否確認等をおこないます。
- ④ いきいき高齢者の通所支援（玉山地域）（盛岡市委託事業） （事業費 1,540 千円）
家に閉じこもりがちな高齢者の方（要支援の認定までに至らない65歳以上の方等）にサテライト型のデイサービスを提供します。

(4) 地域包括支援センター（盛岡駅西口、みたけ・北厨川）（盛岡市委託事業）（事業費 78,822 千円）

地域の高齢者の生活上の相談や介護相談等に対し、必要な援助を関係機関とのネットワークを通じ専門的な総合相談支援をおこないます。また、権利擁護の支援や認知症高齢者の地域での支援体制づくりに取り組み、地域包括ケアシステム実現に向けた中核的な機関として、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的・継続的に推進します。

また、生活支援体制整備事業実施については、各圏域において地域住民や関係団体が参画し、地域の生活課題解決に取り組む活動を推進します。

○開設日・時間 月～土曜日（国民の祝日及び12月29日から翌年の1月3日までを除く）
9時～19時（土曜日は9時～12時）

○盛岡駅西口地域包括支援センター 保健師1名 社会福祉士3名 主任介護支援専門員1名
介護予防支援員1名 生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名

○みたけ・北厨川地域包括支援センター 保健師1名 社会福祉士2名 主任介護支援専門員1名
介護予防支援員1名 生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名

(5) 外出の支援

移動が困難な障がいのある方や高齢者の方が通院、リハビリ、社会参加等で外出する際の利便を図るため、福祉車両の運行や貸出しをおこないます。

① おでかけ送迎サービス（事業費 3,143 千円）

一般の交通手段での外出が困難な方の移動手段として、送迎ボランティアの運転協力によりリフト付福祉車両（4台）を運行します。

○対象者 車いす等を利用しなければ外出が著しく困難な方

○利用時間 平日9時～16時

○利用条件 登録制 月2回まで、利用予約（1カ月前から）、添乗者（介助者）が必要。

○利用料 無料

○送迎ボランティア登録者数 14名（若園センター10名 玉山センター4名）

② 「ぷらっとcab^{きやぶ}」の貸出し（車いす同乗福祉自動車の貸出し）（事業費 249 千円）

一般の交通手段での外出が困難な方のため、スロープ式車いす同乗福祉自動車（1台）を貸出します。

○対象者 車いすを使用しなければ移動が困難な身体に障がいのある方や高齢者

○利用期間等 2日以内（年末年始・祝日及びセンター休館日を除く。）

○利用期間等 8時30分～17時

○利用条件 運転手必要、月3回まで、利用予約（2カ月前から）

○利用料 無料。ただし、ガソリン代等車両利用中の経費は申請者負担。

4 福祉活動情報の発信

より多くの市民に地域福祉活動への参加を呼び掛けるとともに、様々な情報提供手段を利活用、工夫しながら福祉活動に関する情報を積極的に発信し、市民の地域福祉活動や社会福祉協議会の役割などへの理解向上に努めます。

(1) 第64回盛岡市社会福祉大会の開催 (事業費 1,348 千円)

社会福祉の推進に功労のあった方々を顕彰するとともに、地域福祉活動の日常的な実践に向けた活動を展開する機会とするため、市民の参加を得て社会福祉大会を開催します。

○期日 令和7年10月24日(金) 盛岡市民文化ホール(マリオス)

(2) 福祉もりおかの発行 (事業費 3,484 千円)

社会福祉協議会や地区福祉推進会がおこなう事業、地域福祉推進活動、ボランティア活動等に関する情報について広く市民の方々にお知らせするため、年4回(6月、9月、12月、3月)会報を発行します。

(3) インターネットを利用した情報発信 (事業費 275 千円)

ホームページやFacebook等のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を通して、事業情報等を積極的に公開し透明性の確保に取り組むとともに最新情報を発信します。また、各種サービスの申請書等をホームページに設置し利用者の利便性の向上を図ります。

5 総合福祉センターの管理運営 (事業費 19,899 千円)

福祉活動やボランティア活動の拠点として、住民の皆様が安心かつ快適に利用できるよう、盛岡市総合福祉センター及び盛岡市玉山総合福祉センターの環境整備に取り組みます。

また、施設維持に要する費用の削減を検討し、持続性・採算性を意識した施設運営に努めます。

6 職員の育成 (事業費 448 千円)

職員行動指針を定め社協職員がめざすべき職員像を明確にするるとともに、職員育成基本方針の見直しを行い内部研修の更なる体系化を進めます。また、職場内では実践トレーニング(OJT)を意識して実務に取り組み、外部研修を活用して実用性の高い知識やノウハウの習得を促進し、職員の資質向上と多角化した事業及び部門間の効果的な連携を図ります。

社協職員がめざすべき職員像	社協がめざすべき職場像
<ul style="list-style-type: none">○ 市民と協働する職員○ 利用者本位のサービスを行う職員○ 経営感覚を備える職員○ 自己を磨く職員○ 高い倫理観を持つ職員	<ul style="list-style-type: none">○ 活気のある職場○ 組織で仕事をする職場○ 迅速に行動する職場○ 人を育てる職場